GTFSデータリポジトリ　データ登録ガイド

- このガイドではGTFSデータリポジトリにGTFSデータを登録する方法を説明します。

2025年1月改訂版

＜登録できるデータ＞
- リポジトリに登録できるデータは、GTFSや標準的なバス情報フォーマットに基づき作成されたデータです。
- バス、鉄道、路面電車、航路など交通機関の種類は問いません。

＜登録できる方＞
- リポジトリにデータを登録できるのは次の方です
  ① バスなどの交通事業者
  ② コミュニティバス等を運行する市町村、地域団体、ＮＰＯ等
  ③ 都道府県（県内の市町村、バス事業者等のGTFSデータをまとめて登録する場合）
  ④ バス事業者、市町村等からGTFSデータの作成・更新・管理等を正式に受託している事業者

※交通事業者や市町村の依頼によらず作成したGTFSデータを登録することはできません。

登録フロー

ステップ１　AIGIDアカウントを作成する

↓

ステップ２　リポジトリに「組織」を作成する

↓

ステップ３　組織に「フィード」を作成する

↓

ステップ４　フィード内にGTFSデータをアップロードする

↓

GTFSデータが公開されます

※「AIGIDアカウント」は社会基盤情報流通推進協議会(AIGID）が発行します。
「G空間情報センター」のサイトで作成できます。

※「組織」はバス事業者や市町村です。データ整備事業者等が登録を代行する場合でも、バス事業者・市町村単位で作成します。
リポジトリのサイトで**作成を申請**します。

※「フィード」はGTFSデータを作成する単位です。バス事業者・市町村等の中で複数のGTFSデータを作成している場合は、それぞれのフィードを作成します。
リポジトリのサイトで**自分で作成**します。

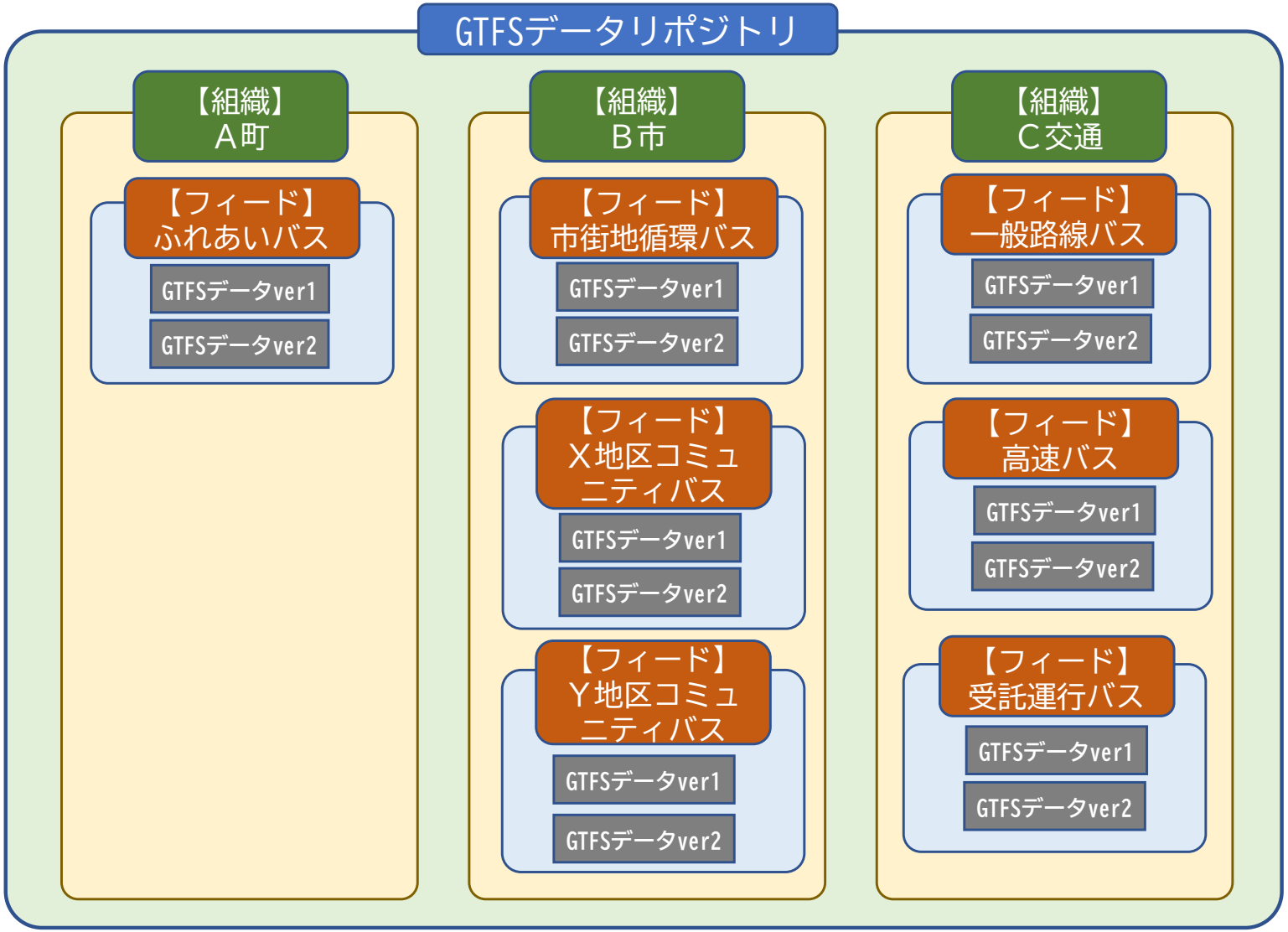
※GTFSデータをリポジトリのサイトで**自分でアップロード**します。
データを修正、更新したときも**自分でアップロード**します。

※４ページ以降で各ステップを説明します

リポジトリのデータ保存の仕組み

※リポジトリ内ではGTFSデータを「組織」～「フィード」の２階層で保存・管理します。

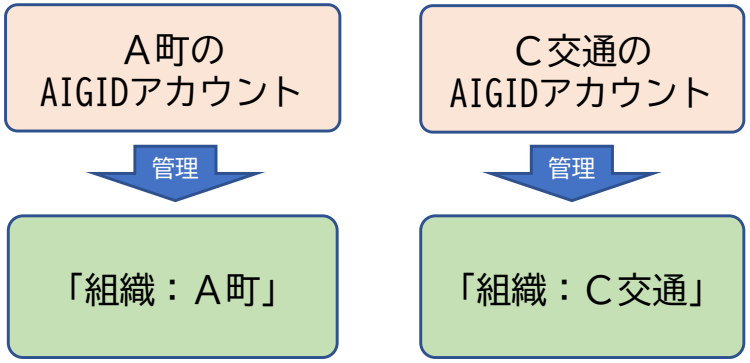
組織	・データを管理する主体です。 ・バス事業者やコミバスを運行する市町村・地域団体ごとに作成します。
フィード	・GTFSデータを作成する単位です。 ・組織の中で路線を分けてGTFSを作成するときは複数のフィードを作成します。



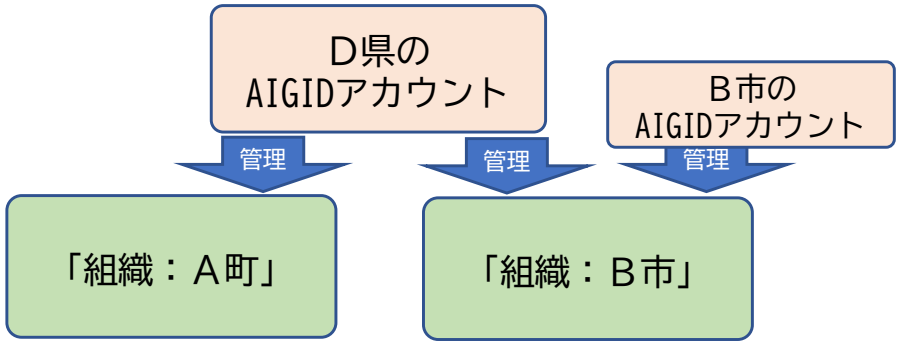
リポジトリのデータ管理の仕組み

- 組織を作成する際にAIGIDアカウントを入力し、組織とAIGIDアカウントを紐づけます。そのAIGIDアカウントが組織の管理者となります。
- そのAIGIDアカウントでリポジトリでログインすると、紐づけられた組織の中にフィードを作成したり、GTFSデータをアップロードできるようになります。
- また、管理者であるAIGIDアカウントは、他のAIGIDアカウントをその組織に紐づけることができます。これにより、複数のAIGIDアカウントで組織・フィード・GTFSデータを管理することができます。
  ※県、バス事業者、市町村、データ整備事業者などが共同で管理することが可能です。

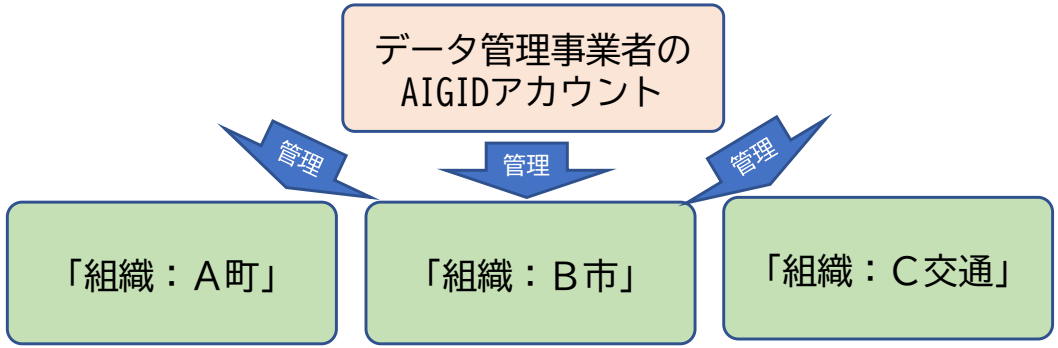
※個々の市町村やバス事業者が管理する場合



※県が一括管理する場合（一部の市町村は共同管理）



※管理を事業者に委託する場合



リポジトリへのデータ登録手順

ステップ１　AIGIDアカウントを作成する

１．G空間情報センターのページでAIGIDアカウントを作成する

（1）G空間情報センターのウェブサイトを開きます
※https://front.geospatial.jp/

（2）「新規ユーザー登録」をクリックします。

（3）登録事項を入力します。

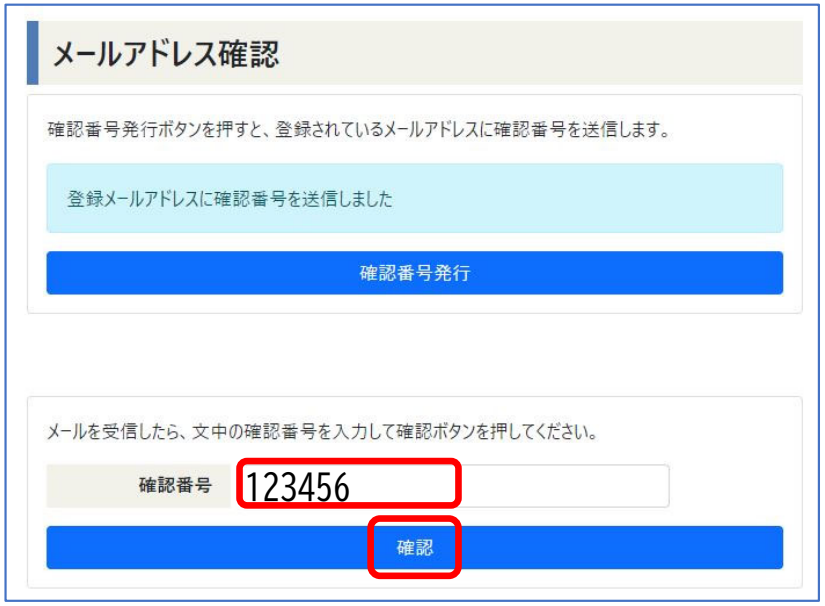
- メールアドレスには、GTFSデータリポジトリからの問合せに使用するメールアドレス（課の代表アドレスなど）を入力してください。
- ユーザ名がAIGIDアカウントになります。
- *メアド、ユーザー名、パスワードを忘れないようにお願いします。*

「確認」をクリックします。

（4）確認画面が表示されますので、利用規約を確認して「同意する」にチェックをいれ、「登録」をクリックします。

（5）登録情報が表示され、「本人確認のお願い」としてメールアドレスによる確認が求められますので、「こちらより」をクリックします。

(6) メールアドレス確認の画面が表示されますので、「確認番号発行」をクリックします。
登録したメールアドレスに確認番号が送付されますので、「確認番号」欄に入力して「確認」をクリックします。
確認が完了したらログオフします。これでAIGIDアカウントの作成は完了です。



ステップ２　リポジトリに「組織」を作成する

（1）GTFSデータリポジトリのウェブサイトを開きます

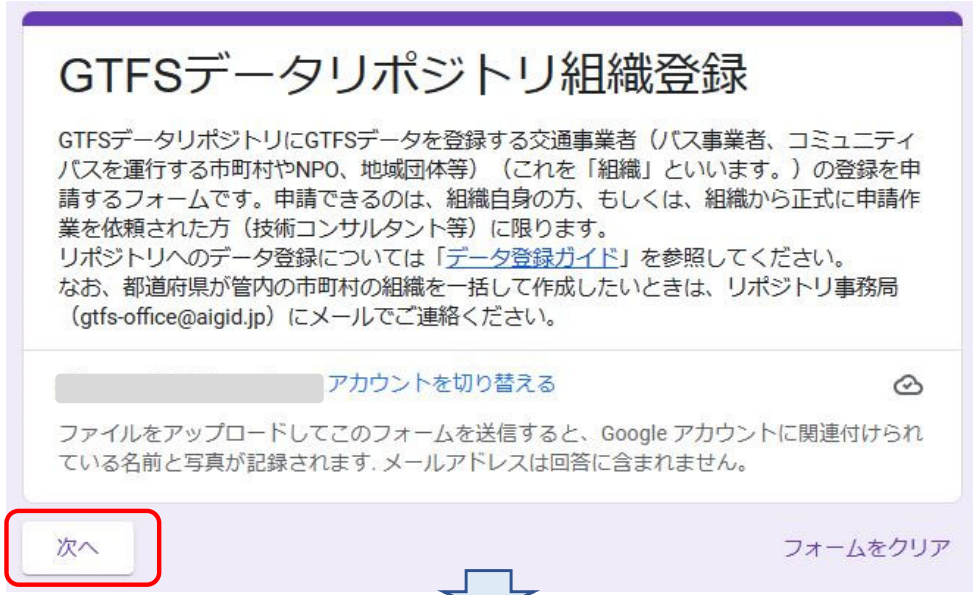
※https://gtfs-data.jp/　または　「GTFSデータリポジトリで検索

（2）「GTFSを公開する」をクリックします

（3）AIGIDアカウントとパスワードでログインします

（4）組織登録のフォームへのリンクをクリックします　→ Googleフォームが開きます

※画面は開発により変わることがあります

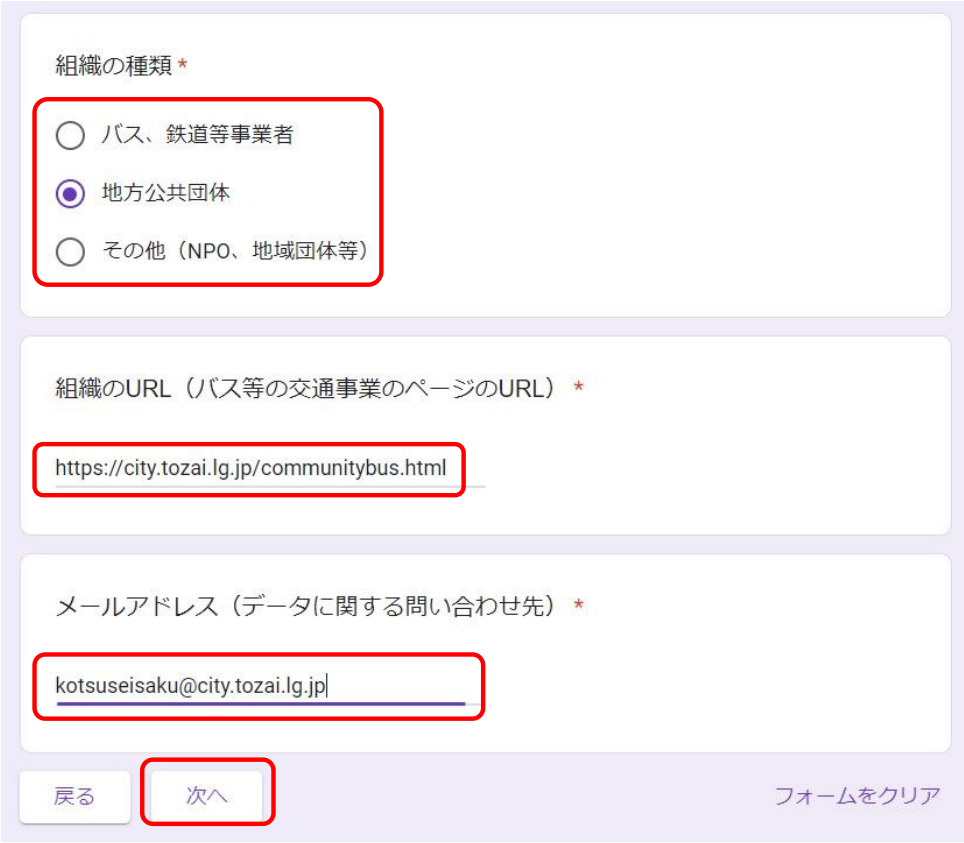


- 「組織」は、バス事業者やコミュニティバスを運行する市町村、地域団体、ＮＰＯ等です
- １つの事業者、市町村等につき１つの組織を作成してください
- 公営企業は都県市町村とは別の組織としてください
- GTFSデータ作成を受託しているデータ整備事業者等を組織としないでください

- 「次へ」をクリックします。

- 「組織」の名称を入力します。市町村の場合は、コミバス名（例：ふれあいバス）ではなく市町村名を入力します。
  ※同名の市町村がある場合は事務局で都道府県名を補入します
- バス事業者の場合は、会社名（〇〇交通）もしくはバス名（〇〇バス）のいずれか分かりやすいほうを入力します。

- 役場、本社等の住所を都道府県から入力します。

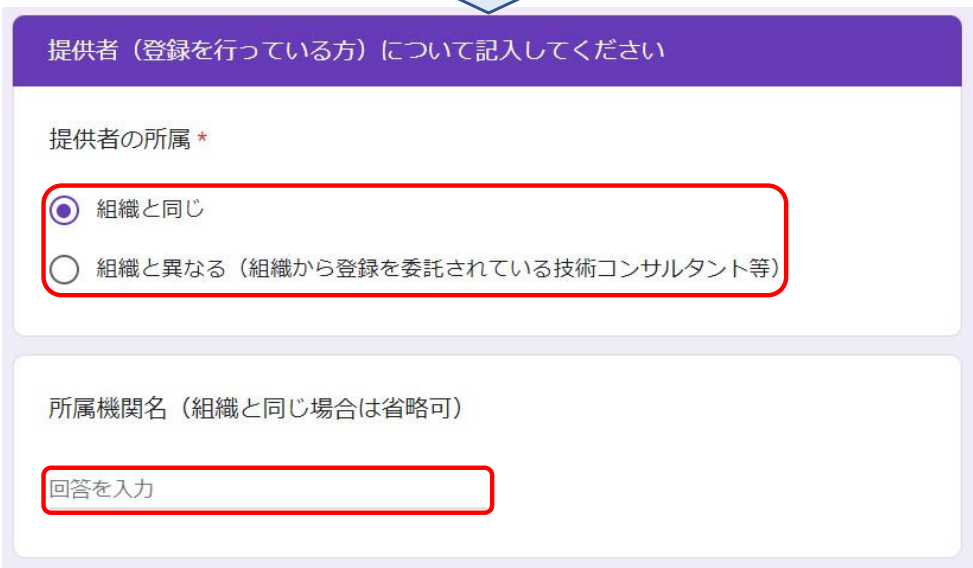


- 組織の種類を選択します。
- 公営企業は「バス、鉄道等事業者」を選択してください。

- 組織のウェブサイトのURLを入力します。
- 市町村はトップページではなく、運行するコミュニティバスのページか公共交通のページのURLとしてください。

- GTFSデータに関する問い合わせ先のメールアドレスです。
- バスの利用者からの問合せではなく、データを利用する事業者などからの問合せです。バス事業者・市町村もしくはデータ作成業者のメールアドレスを入力します。
- メールを公開していないときはフォームメールのURLでも可。

- 「次へ」をクリックします。



※「提供者」に入力された情報はリポジトリでは公開されません
※ リポジトリ側の管理、提供者への連絡等に使用します。

- データの提供者（リポジトリにアクセスしてGTFSデータのアップロード等を行う方）についての入力です。
- バス事業者や市町村の「組織」の方が自ら行う場合と、コンサルタントやデータ整備事業者が委託を受けて行う場合の別です。

【データ提供委託の場合のみ】
- 委託されている会社等の名称を入力します。

所属機関のウェブサイトのURL（組織と同じ場合は省略可）

回答を入力

【データ提供委託の場合のみ】

- 委託されている会社等のウェブサイトのURLを入力します。
  ※ 委託されている会社等の確認に使用します。

担当者の所属部署（ない場合は「なし」と入力） *

市民生活部交通政策課

- 担当者の所属部署を入力します。

担当者氏名 *

鈴木一郎

- 担当者の氏名を入力します。

AIGIDアカウント *
（リポジトリへのログインにはAIGIDアカウントが必要です。まだ取得されていない場合は、先にAIGIDアカウントを取得してください。）

tozaicity-kotsuseisaku

- 作成しておいたAIGIDアカウントを入力します。

メールアドレス（担当者への連絡用。AIGIDアカウントに紐づけられているもの） *

kotsuseisaku@city.tozai.lg.jp

- AIGIDアカウント作成時に登録したメールアドレスです。
  ※ リポジトリからの連絡に使用します。

組織からの委任状（PDF）を添付してください（提供者が組織と異なる場合のみ）（委任状のひな形）

ファイルを追加

【データ提供委託の場合のみ】

- 依頼元のバス事業者・市町村等からの委任状をアップロードしてください
- 委任状に記載された委託元のメールアドレスに確認します

※ GTFSデータの提供がバス事業者・市町村等からの正式な委託によるものかを確認するためのものです。

- 利用規約を確認して、「同意する」にチェックを入れます。

- 「送信」をクリックします。

- 組織登録の申し込みが送信されました。
- リポジトリ事務局で確認の上、入力いただいたメールアドレスに、登録完了のお知らせを送信します。
  ※1～2日要することがあります。

ステップ３　「組織」にフィードを作成する

（1）リポジトリ事務局から、組織完了をお知らせするメールが届いたら、GTFSデータリポジトリのウェブサイトを開いて、AIGIDアカウントでログインします。
※https://gtfs-data.jp/　または　「GTFSデータリポジトリ」で検索

（2）作成した組織名が表示されるので、クリックします。

- １つのAIGIDアカウントで複数の組織のデータを管理しているときは、「組織を選択」の下に組織が列挙されます。

（3）組織の基本情報とフィード一覧が表示されます。
フィード一覧の右端の「GTFSフィードの新規追加」をクリックします。

- 組織の基本情報は組織登録時に入力した情報です。
- 事業者IDはリポジトリ事務局が作成します。
- 「編集ボタン」をクリックすると、事業者ID以外の項目を変更できます。

- 「フィード」はGTFSデータを作成する単位です。
- 一つのバス事業者や市町村が複数のGTFSデータを作成しているときは、それぞれのフィードを作成します。
  （例）
  ・複数のコミュニティバスがあり別々にGTFSデータを作成しているとき。
  ・バス事業者が一般路線バスと高速バスに分けてGTFSデータを作成しているとき。

GTFS 新規追加

フィードを新規作成する画面です

GTFSフィード情報

GTFSフィード名 *

手須戸市循環バス

バスの名称を入力します

GTFSフィードID *

junkan-bus

バスの名称の英字を入力します（１度設定すると変更できません。）

都道府県

東京都

路線がある都道府県を選択します（１つだけ）

ライセンス

CC BY 4.0

GTFSデータのライセンスを選択します
選択肢にない場合や市町村等の独自のライセンスの場合は、「カスタムライセンス」を選択して、ライセンス名とライセンスが記述してあるURLを入力してください。

備考

循環バス 東ルート、西ルート、北ルート、南ルート

GTFSデータについて利用者に示したい情報がある場合に入力します。
例：収録している路線名など

GTFSリアルタイム情報

Trip Update URL

https://gtfs-xxxx.jp/testcity/TripUpdates.pb

Vehicle Position URL

https://gtfs-xxxx.jp/testcity/VehiclePositions.pb

Alert URL

https://gtfs-xxxx.jp/testcity/Alerts.pb

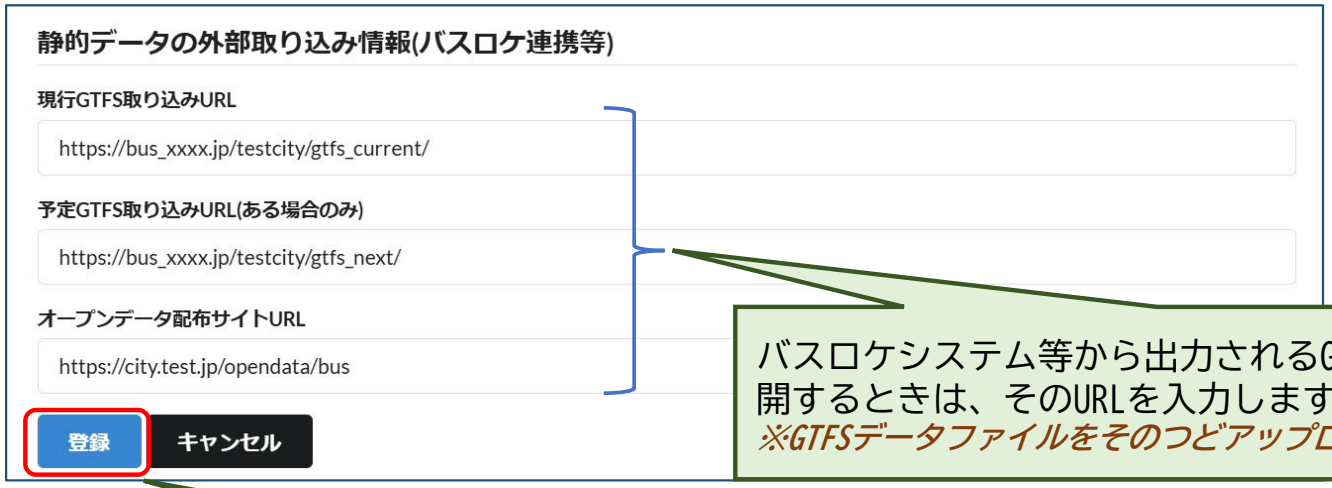
GTFS-RT（リアルタイム）を配信している場合は、
そのURLを入力します
※リアルタイムを公開していない場合は入力不要

更新間隔(秒)

15

リアルタイム情報の更新間隔を入力します

次ページに続く



バスロケシステム等から出力されるGTFSデータをそのまま公開するときは、そのURLを入力します。
※GTFSデータファイルをそのつどアップロードする場合は入力不要

最後に「登録」をクリックします
フィード作成完了です。

ステップ４　フィード内にGTFSデータをアップロードする

（1）リポジトリにログインして、組織をクリックすると、フィード一覧に登録したフィードが表示されます。「データ更新ボタン」をクリックします。

（2）フィードの情報が表示されます。「編集ボタン」をクリックすると事業者ID以外の項目を変更できます。

※ダウンロードURLは固定で変更できません

（3）登録済みGTFSファイルの右端の「追加ボタン」 をクリックします。

※データの新規登録の場合も、ダイヤ改正等による更新データの登録の場合もこの「追加ボタン」をクリックします。

(4) 初回アップロードのときは、「更新内容」「更新メモ」欄は入力不要ですが、「更新メモ」欄に、「20xx年x月xx日データ公開」、「 20xx年x月xx日改正ダイヤ」等と記載すると利用者に親切です。

- 更新データをアップロードするときは、更新内容の概要する項目にチェックを入れます。
- 更新メモには更新内容の参考情報を入力してください。

例：202x年xx月xx日ダイヤ改正
〇〇線新設、××線廃止
バス停名変更
花火大会による特別ダイヤ（202x年x月x日）

(5) 「ファイルを選択」をクリックして、GTFSデータファイルを選択します。
「登録」をクリックします。

(6) 「登録」をクリックすると、前の画面に戻って「アップロード中」と表示されます。アップロードが完了するとリポジトリがデータ検証（GTFSの仕様に合っているかのチェック）を行いますので、しばらくお待ちください。

次ページに続く

（7）検証が終わると結果（警告、エラーの数）が表示されます。
「詳細」をクリックして検証結果を確認してください。
この時点では、まだ、データは公開されていません。

（8）「詳細」をクリックすると「検証レポート」が表示されます。
「＋」をクリックするとエラー、警告対象があるファイル名、該当箇所などが表示されます。

検証結果

エラー: 0件, 警告: 1件, 情報: 0件

「＋」をクリックして説明、対応策などを表示します

通知コード	説明	日本向け注	重要度	件数
+ trip_coverage_not_active_for_next7_days	主なservice_idが今日から7日先まで有効でない	やむを得ない	警告	1

日本向けに除外した通知

以下の通知は、日本特有の事情などにより生じるもののうち、修正が困難、かつ実害が無いため、集計から除外しています。

通知コード	説明	日本向け注	重要度	件数
+ unknown_file	GTFSの仕様で定義されていない名前のファイルがある	無視してOK	情報	1
+ mixed_case_recommended_field	このフィールドには利用者向けのテキストが含まれており、大文字と小文字を含む必要がある	無視してOK	警告	2
+ non_ascii_or_non_printable_char	idに非ASCII文字または印刷不能文字が使われている	無視してOK	警告	805

（9）エラー、警告の解説、推奨されている設定、必要な対応策が表示されます。
必ずしも対応が必要ではない警告などの場合もありますが、できるだけGTFSデータを修正してください。
GTFSデータが修正できたら、再度アップロードします（次ページ）。

GTFS Schedule Validation Report

エラー: 0件, 警告: 4件, 情報: 0件

This validation report was generated using the Canonical GTFS Schedule validator .

Use this report alongside the RULES.md file to get more details about the validation issues.

通知コード	説明	日本向け注	重要度	件数
– missing_recommended_field	設定を推奨する列がない	GTFS拡張対応	警告	3

missing_recommended_field

■feed_info.txtの場合
【仕様】
feed_info.txtに、feed_contact_emailとfeed_contact_urlが2018年に追加されました。
これらには、データについての問い合わせ先を設定します。
GTFS仕様： https://gtfs.org/ja/schedule/reference/ #feed_infotxt

【推奨】
feed_contact_emailとfeed_contact_urlのどちらかは設定が推奨されてます。そのためどちらも設定されていないと警告が出ます。
Best Practice： https://gtfs.org/ja/schedule/best-practices/ #feed_infotxt

【対策案】
・GTFS生成ツールがfeed_contact_emailとfeed_contact_urlの設定に対応している場合は、少なくともどちらかを設定してください。

・乗客向けの問い合わせ先ではなく、データについての問い合わせ先を設定します。交通事業者や自治体でデータを内製している場合は、担当部署のメールアドレスの設定が望ましいです。問い合わせフォームがある場合はURLでも構いません。データ整備を委託している場合は、委託先業者のメールアドレスまたはURLを設定します。

・GTFS生成ツールが両項目の設定に非対応の場合は、当面はこのまま公開して構いませんが、ツールの更新・改修を検討してください。

通知コードの詳細(英文)

filename	csvRowNumber
"feed_info.txt"	2
"feed_info.txt"	2
"feed_info.txt"	2

【修正したデータの再アップロード】（検証レポートのウィンドウは閉じます）

（10）登録済GTFSファイルのリストの「詳細」をクリックします。

（11）トグルボタンを動かして「編集」モードにします。

（12）ウィンドウの下にある「再アップロード」の「ファイルを選択」をクリックして、修正したGTFSデータをアップロードします。

※再アップロードすると前のデータは自動で削除されます。

（13）「更新」をクリックします。再度、検証中となり、検証が終わると、上の(10)の画面になりますので、検証結果の「詳細」をクリックしてエラー・警告の内容を確認します。

（14）まだ、データは公開されていません。データ修正が完了して公開できる状態になりましたら、
「公開する」をクリックします。

（15）データが「公開中」の欄に移動して、公開されました。
データの間違いに気が付いた等の理由で公開を中止したいときは「非公開にする」をクリックします。

更新内容・更新メモの記述の修正、GTFSデータの差し替え方法

（16）更新内容の修正やGTFSデータを<u>差し替えたいとき</u>はそのデータの「詳細」をクリックします。

※ダイヤ改正等で更新したGTFSデータをアップロードするときは追加ボタン ⊕ をクリックしてください。

（17）　トグルボタンで「編集」モードに切り替えます。
更新内容や更新メモを修正します。
ファイルを再アップロードするときは「ファイルを選択」をクリックします。
最後に「更新」をクリックします。

※再アップロードすると再度データ検証されますので非公開の状態になります。改めて「公開する」のクリックが必要です。

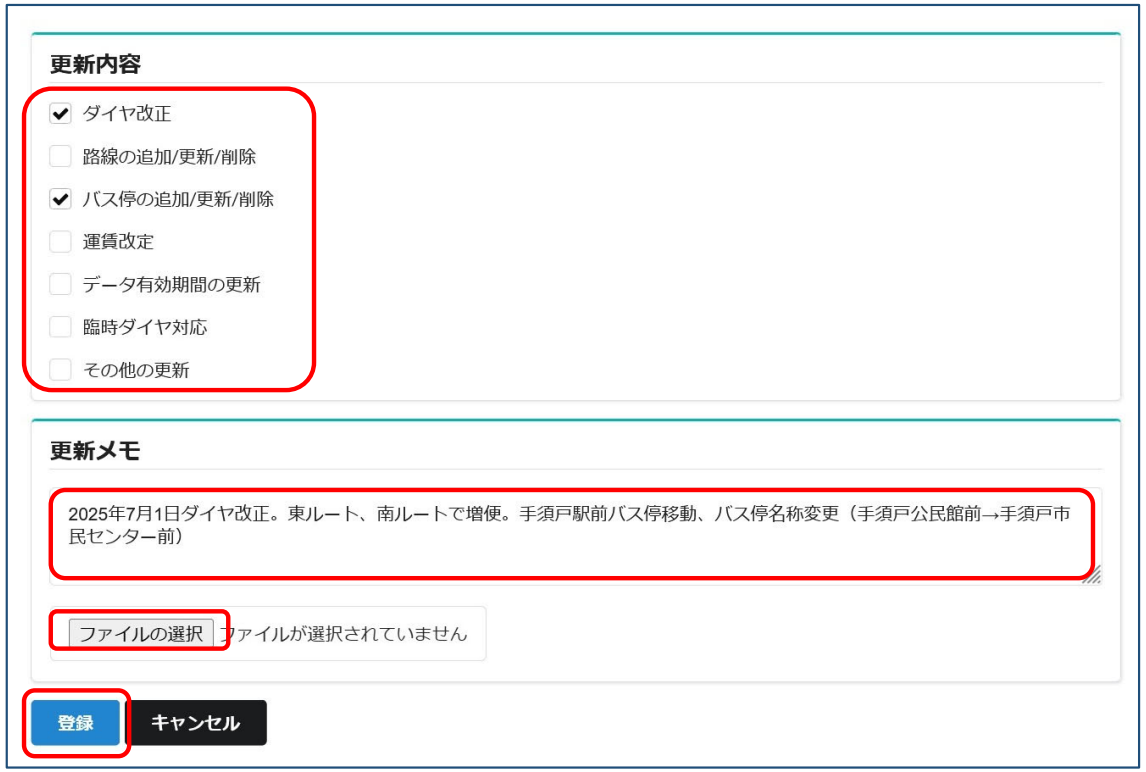
これで修正、差し替えは完了です

ダイヤ改正、データ有効期間の更新などで新しいGTFSデータをアップロードするとき

（1）リポジトリにログインして組織をクリックしたらフィード一覧が表示されますので、「データ更新」をクリックします。

（2）「登録済GTFSファイル」の右側の追加マーク をクリックします。

(3) 「更新内容」の該当する項目にチェックをいれ、「更新メモ」に今回のデータ更新の内容を記載します。少なくとも、ダイヤ改正日は記入してください。
　次に「ファイルの選択」をクリックして新しいデータファイルをアップロードし、「登録」をクリックします。



(4) 検証結果をチェックして「公開する」をクリックすると更新データが公開されます。
　下図のように新旧のデータが並んで表示されます。

（参考１）複数のデータをアップロードしたときの表示

- アップロードしたデータが蓄積していくと下画面のように表示されます。将来、過去のデータも利用できるようになります。
- 「ダウンロード」の「DL」をクリックすると、各ファイルをダウンロードできます。
- 検証ツール導入前にアップロードしたファイルには検証結果は表示されません。

- 「世代」はデータの時系列を示す記号です。

next：**将来データ**。開始日が今日より後のデータ。開始日が今日に近い順に1,2,3・・・の番号が付く

current：**現行データ**。有効期間に今日を含むデータ。複数ある場合は最後にアップロードしたデータ。

prev：**過去データ**。next、current以外のデータ。
有効期間に今日を含むデータでも最新のデータ以外は過去データとなる。アップロード日が新しい順に1,2,3・・・の番号が付く。

登録済み GTFS ファイル

非公開

アップロード日	開始日	終了日	検証結果	状態

公開中

世代	アップロード日	公開日	開始日	終了日	検証結果	状態	ダウンロード		
next_1	2023-04-24 10:53:41	2023-04-24 10:55:00	2023-04-29	2024-04-26	警告: 1種類 1件 エラー: 0種類 0件 詳細	検証完了	DL	非公開にする	詳細 削除
current	2023-04-24 15:36:13	2023-04-24 16:41:31	2023-04-01	2024-03-31	警告: 2種類 4件 エラー: 0種類 0件 詳細	検証完了	DL	非公開にする	詳細 削除
prev_1	2023-04-24 10:38:01	2023-04-24 10:41:21	2023-01-01	2023-12-31	警告: 3種類 5件 エラー: 0種類 0件 詳細	検証完了	DL	非公開にする	詳細 削除
prev_2	2023-04-24 10:35:22	2023-04-24 10:36:56	2022-04-01	2023-03-31	警告: 3種類 5件 エラー: 0種類 0件 詳細	検証完了	DL	非公開にする	詳細 削除

（参考２）データ利用者が閲覧するページでのフィード情報とアップロードしたデータの情報の表示

東京都: 手須戸市循環バス

フィード情報

フィードID	junkan-bus
フィード名	手須戸市循環バス
都道府県	東京都
ライセンス	CC BY 4.0
総ダウンロード数(2023/09/09～)	0
備考	循環バス 東ルート、西ルート、北ルート、南ルート

静的情報

バスの利用者向けに時刻表を案内するアプリ等を作成するときは、自動で最新のデータを取得してください

ダウンロードURL(現行->過去->次)	https://api.dev.gtfs-data.jp/v2/organizations/test-org1/feeds/junkan-bus/files/feed.zip
ダウンロードURL(現行)	https://api.dev.gtfs-data.jp/v2/organizations/test-org1/feeds/junkan-bus/files/feed.zip?rid=current
ダウンロードURL(次か現行(Google用))	https://api.dev.gtfs-data.jp/v2/organizations/test-org1/feeds/junkan-bus/files/feed.zip?rid=next

リアルタイム情報

更新間隔: 15秒（過度なアクセスは行わないようにしてください）

TripUpdate URL	https://gtfs-xxxx.jp/testcity/TripUpdates.pb
VehiclePosition URL	https://gtfs-xxxx.jp/testcity/VehiclePositions.pb
Alert URL	https://gtfs-xxxx.jp/testcity/Alerts.pb

静的データの外部取り込み情報(バスロケ連携等)

事業者情報

事業者名	手須戸市
事業者ID	test-org1
Webページ	https://city.test.jp/communitybus/
Email	kotsuseisaku [at] city.test.lg.jp

- GTFSデータの利用者は、データの有効期間、更新情報を見て、必要なデータをダウンロードします。
- また、固定URLをウェブサイトに書き込んでリンク集を作成したり、自分のシステムに設定して自動的にGTFSデータをダウンロードできます。

フィード作成時に備考欄に入力したもの

何等かのGTFSデータをダウンロードする固定URL

現行ダイヤのデータをダウンロードする固定URL

Google乗換案内の自動アップロードに設定する固定URL

GTFS-RT（リアルタイム）のURL

事業者・市町村等（組織）に関する情報

次ページに続く

GTFSデータのfeed_info.txtに書き込まれているデータの開始日と終了日
（feed_start_date、feed_end_date）

データアップロード時に入力した更新情報

各データのダウンロードリンク
（下にダウンロード実績数が表示されます）

ダウンロード

世代	公開日	開始日	終了日	更新情報	更新メモ	検証結果	ダウンロード(DL数)
	2025-1-22 13:06:24	2025-07-01	2026-03-31	ダイヤ改正 バス停の追加/更新/削除	2025年7月1日ダイヤ改正。東ルート、南ルートで増便。手須戸駅前バス停移動、バス停名称変更（手須戸公民館前→手須戸市民センター前）	警告: 1件 エラー: 0件 詳細	DL (0)
	2025-1-20 13:40:07	2025-04-01	2026-03-31	ダイヤ改正 路線の追加/更新/削除 バス停の追加/更新/削除 データ有効期間の更新	2025年4月1日ダイヤ改正。東ルートと城山公民館バス停追加、市役所前、東高校前バス停位置変更、西ルート及び北ルートで増便	警告: 1件 エラー: 0件 詳細	DL (0)

閉じる

データアップロード時の検証結果